

令和5年度 指定管理者総合評価表(評価対象年度:令和4年度)

令和4年度事業に係る事業報告書等に基づき、指定管理者による管理運営状況について確認、検証した結果、下記のとおり評価しました。

施設名	津市久居アルスプラザ
指定管理者	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
指定期間	平成31年4月1日～令和7年3月31日
施設の設置目的	本市における文化芸術の振興を図り、もって地域の再生及び活性化に資するため、津市久居アルスプラザを設置する。
指定管理者の業務	文化芸術事業の企画及び実施に関する業務 津市久居アルスプラザの使用の許可に関する業務 津市久居アルスプラザの施設、設備器具等の維持管理に関する業務
評価担当部課 (問い合わせ先)	スポーツ文化振興部文化振興課文化ホール施設担当(電話059-229-3202)

評価は◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪いの4段階です

区分	評価項目	検証結果	評価結果
管理状況について	適正な人員配置	事業計画書の提案内容に準じて人員体制を整え、1ヶ月ごとの勤務シフトで効率的な人員配置で運営している。有資格者の必要な業務については、第三者委託等により適切に人員配置を行い業務を執行している。	○
	従事者の教育・研修	善良な管理者として適正な久居アルスプラザの管理運営を行うため、各職員に「人権研修」「接遇マナー研修」「危機管理研修」「個人情報保護研修」「サービスアップ研修」といった様々な研修を受講させており、安全管理や危機管理、利用者の利便性・快適性の向上等を図っている。	○
	関係法令の遵守	久居アルスプラザの設置及び管理に関する条例や規則等を確認し、従事職員に周知している。関係法令については、常時閲覧できるようファイルに保管し、その都度確認を行いながら遵守している。	◎
	備品等の管理	利用者が安全、快適に施設を使用することができるよう、備品台帳を整備し、施設の管理運営において必要な備品の調達や破損・故障した備品の修理等を実施する等、適切な管理を行っている。	○
	個人情報保護	個人情報を適切に管理するため、個人情報保護規程等の規定・マニュアルの作成をはじめ、個人情報マネジメントシステムに基づく運用を行っている。 また、プライバシーマーク登録証の取得、個人情報漏洩対応保険への加入、毎年の個人情報保護監査及び個人情報保護研修の実施等、適切な個人情報保護のための対策を継続的に実施している。	○

評価は◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪いの4段階です

区分	評価項目	検証結果	評価結果
	施設・設備の保守点検	施設・設備に故障、不具合が生じた場合や危険箇所と判断される場所が判明した際は、速やかに適切な修繕等の対応を行っている。そのほか、24時間緊急連絡網の整備等、適切な体制を構築している。	○
	効率的・効果的な管理運営	企業・団体等への積極的な営業活動による利用促進、補助金や協賛の獲得等の収入増額のための取組を行い成果をあげている。 光熱水費縮減の取組として、燃料価格高騰に伴う更なる対策を実施し、縮減の成果をあげている。 そのほか、モノクロ印刷の推奨や、郵送費・デザイン業務経費の縮減等、経費の効果的・効率的な執行に努めている。	○
	安全管理や危機管理などへの対応	新型コロナウイルス感染症への基本的な対策として、感染拡大防止の注意喚起、検温・消毒用アルコール設置等を行ったほか、随時改訂されていく国・県のガイドライン等に併せて、施設管理者として必要な対応を検討して適切な対策を実施した。 そのほか、危険箇所への対応として、不具合箇所の適切な修繕対応や注意喚起表示の設置や、防犯や防災、事故等に対する危機管理体制として、各種対応マニュアルの整備、消防法に基づく各種手続き、避難訓練を実施した。	○
	報告書等の整理及び提出	各種文書については、文書管理規定を策定して適切な分類・保管を行っている。また、事業計画書、月次事業報告書、年度事業報告書の提出については、全て協定書等に基づく内容や期限での提出が行われた。	◎
運営状況について	利用状況	年間利用者数は目標の70,000人に対して137,014人、年間来館者数は目標85,000人に対して241,344人であった。 施設の貸館状況について、施設全体の年間利用率は目標の70%に対して83.9%であった。 いずれも要求水準書における目標値や前年度の実績を上回る結果となった。	◎
	利用者満足度の向上	利用者満足度の指標として利用者に対して実施している各種の満足度アンケートの結果、いずれも9割以上の満足度を得ている。 利用者への情報提供に関して、昨年度に改善を指摘したホームページに掲載する実施レポートの更新頻度については更新回数が増加して改善されている。 サービスの向上を図るための取組としては、貸館利用者向け及び来館者向けの各種のサービスを継続して実施しているほか、利用者等の要望を踏まえて必要な備品の調達を行う等、利用者の利便性の向上に努めている。	○

評価は◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪いの4段階です

区分	評価項目	検証結果	評価結果
	地域や関係団体との交流・連携	久居地域で従来から行われている地域イベント事業の活動支援のほかに、市内文化施設や学校へのアウトリーチ事業、周辺地域団体と連携した文化芸術イベント等、新たな地域連携の事業を創出して継続的に実施している。 また、令和4年度の新たな取組として、近隣の文学館とのコラボ企画、地域専用チラシラックの設置、駅からの道中に整備された「アルスの小路」の路面標示シートの張替え、近隣のコンビニ店内への自主事業のチラシコーナーの設置、地元商店街と連携した商店街店舗の割引クーポンの発行等を実施しており、要求水準で求める地域との交流・連携の取組をさらに充実させた。	◎
	利用者の苦情、要望等の対応	受付カウンターへ設置したご意見箱、公式ホームページからの問い合わせ受付、各種アンケートの配付・収集等を通じて利用者からの苦情・要望等を幅広く拾い上げて対応を行っている。 また、意見や要望等を踏まえて、ホール入場方法の改善等の具体的な対応を実施している。	○
	効果的な営業・広報活動	営業活動は、自主事業に関するプレスリリースを随時行っているほか、店舗やその他施設・団体等への自主事業・貸館の営業、ポスター・チラシの設置依頼等を積極的に実施している。 広報活動は、公式Webサイトや各種SNSへの掲載、公共施設や民間協力店舗等へ自主事業チラシ設置、季刊誌発行、市広報誌への掲載、新聞・雑誌等への広告掲載等、様々な手段により効果的なタイミングで情報発信を行っている。また、テレビ・新聞・雑誌等各種媒体において、取材放送や紙面掲載に多数取り上げられたほか、有料広告等の外部メディアも積極的に活用している。	○
	カフェの運営	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、営業を継続することが困難となった市内委託事業者の運営撤退に伴いグループ会社による直営に変更となった。これに伴い、店名、メニューを一新する等、更なるサービスの提供に努めている。 また、直営に移行後も、地元業者との取引を継続する等、地域の活性化に努めている。	○
自主事業について	創造事業	当初予定どおり4事業を実施し、要求水準書で定められた要求回数を全て上回る回数の事業を実施した。 「アルスこども創造プロジェクト」では、子どもたちが地域のプロの芸術家の指導のもと久居の歴史をテーマにしたミュージカルの創作に参加して公演披露を行った。また「HISAI芸術家の住む町プロジェクト」では、招聘したアーティストが市内に滞在して住民と触れ合う中で、津市を舞台にした映像作品を制作し、上映会や展示会等を行った。そのほか、市民参加型の企画であるクリスマスコンサート等、津市の特性を活かした作品づくりや市民が気軽に参加できる機会が数多く創出された。	◎
	鑑賞事業	当初予定どおり6事業を実施し、要求水準書で定められた要求回数を全て上回る回数の事業を実施した。 松竹歌舞伎の舞踊公演等、様々な質の高い実演芸術が企画公演された。また、当該歌舞伎公演において安価な価格設定の座席を設けたほか、気軽に落語に触れられるアルス寄席等、多様な企画が参加しやすい低廉な価格で提供が行われた。	○

評価は◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪いの4段階です

区分	評価項目	検証結果	評価結果
	普及育成事業	当初予定どおり11事業を実施し、要求水準書で定められた要求回数を全て上回る回数の事業を実施した。 地域の実演芸術を担う人材育成を目的とした各種養成講座が開催されたほか、将来を担う子どもたちに文化芸術に親しんでもらえるように様々な子ども向け・親子向け事業が実施された。 また、地域活性化につながる事業として、市内文化施設への巡回公演や、地域での活動体験プログラムが実施された。	◎
	協働事業	当初予定どおり12事業を実施し、要求水準書で定められた要求回数を全て上回る回数の事業を実施した。 久居地域の団体等と連携して文化芸術イベントを取り入れたマルシェを実施したほか、施設の運営を支える人材育成を目的とした市民ボランティア養成講座を開催した。各種のボランティア養成講座の実施後、参加者の内新たに6名がボランティア登録された。	○
	国内、国際交流事業	当初予定どおり5事業を実施し、要求水準書で定められた要求回数を全て上回る回数の事業を実施した。 地域の団体等と連携して実施する「夏休み！こども広場」では、様々な国の団体にも企画に参加してもらう等、異文化との交流が図られた。	○
雇用・労働条件について	雇用創出への寄与、法定保険加入、福祉に寄与する人員体制	雇用状況について、市内在住者を中心とした雇用に努めており、必要な法定保険にも加入している。 カフェについては、市内委託事業者の運営撤退に伴いグループ会社による直営に変更となったが、福祉に寄与する人員雇用には至っていない。	×
収支状況について	計画された収支の確保、財源の確保、適正な支出	要求水準及び年度事業計画に基づき、毎月収支状況を適切に管理しながら業務を実施している。 また、財源確保に向けて、各種の補助金や協賛の獲得の取組を行い成果をあげている。	◎

【総合評価】 ※適正な管理運営を行ってきたかを記入する

管理状況に関しては、適正な人員配置、法令の遵守、安全・危機管理体制等のもと、着実に施設の管理が行われた。特に光熱水費縮減について、指定管理者において更なる取組を実施して成果をあげており、特に優れた取組として評価した。

運営状況に関しては、年間の施設利用者数、来館者数、施設全体の利用率のいずれも、要求水準の目標を大きく上回る達成状況となったほか、地域との交流・連携の取組をさらに充実させている点等を特に優れた取組として評価した。

自主事業に関しては、令和3年度からの延期事業を含めて合計39事業が計画どおり実施され、いずれの事業区分においても要求水準書の要求回数を上回る数の事業が実施された。特に創造事業、普及育成事業について、津市の特性を活かした作品づくり、市民が気軽に参加・参画できる機会の創出、文化芸術の普及・人材育成の推進、地域活性化につながる事業が展開されており、特に優れた取組を行っているものとして評価した。

収支状況については、補助金や協賛の獲得をはじめ、財源の確保に向けた積極的な取組を行い成果をあげた。

【指定管理者に対して行った指導助言の内容・今後の業務改善(向上)に向けた考え方】

カフェにおいて福祉に寄与する人員雇用に至っていない状況について、引き続き改善に向けた指導を行っていくが、一方で、こうした人員の活用には、施設のスペース等により一定の制約を受ける場合がある現状を踏まえ、次期指定管理者公募の段階で、改めて要求水準の見直しも検討することとする。